

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年7月3日(2023.7.3)

【公開番号】特開2022-16697(P2022-16697A)

【公開日】令和4年1月21日(2022.1.21)

【年通号数】公開公報(特許)2022-011

【出願番号】特願2021-193245(P2021-193245)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 334

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和5年6月23日(2023.6.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を行うことが可能な遊技機において、  
所定の事象を検出するための検出手段と、  
前記検出手段からの入力信号に基づき所定の制御を行う第1制御手段と、  
前記第1制御手段からの信号に応じた演出の制御を行う第2制御手段と、  
変動演出を実行可能な表示手段と、  
所定の態様で作動可能な可動演出手段と、を備え、  
前記第2制御手段は、

30

電源供給の開始後に前記可動演出手段の初期作動を実行することが可能であり、  
遊技が進行していない待機状態において客待ち演出を実行することが可能であり、  
電源供給の開始後の前記初期作動の終了後であって前記客待ち演出の実行中に所定条件  
が成立した場合、前記初期作動を実行することが可能であり、  
前記検出手段は、

遊技媒体を検出するための第1検出手段と、  
所定の異常を検出するための第2検出手段と、を含み、  
前記遊技機への電源供給が開始されると前記表示手段に所定画像を表示した後に演出図  
柄を表示可能であり、

前記遊技機への電源供給が開始されたときに前記第1制御手段と前記第2検出手段とが  
非接続状態である場合、異常報知を実行可能であり、

前記遊技機への電源供給中ににおいて前記第1制御手段と前記第2検出手段とが非接続状  
態となった場合、異常報知を実行可能であり、

前記遊技機への電源供給が開始されたときに前記第1制御手段と前記第2検出手段とが非接続状  
態であることに基づく前記異常報知は、前記表示手段に前記所定画像が表示され  
た後に開始されることを特徴とする遊技機。

40

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

50

## 【補正の内容】

## 【0007】

上記課題を解決するため、本発明によれば、遊技を行うことが可能な遊技機において、所定の事象（始動入賞、磁気、電波等）を検出するための検出手段（始動口検出スイッチ、磁気検出センサ、電波検出センサ等）と、前記検出手段からの入力信号に基づき所定の制御（大当たり判定、異常判定等）を行う第1制御手段（主制御基板110）と、前記第1制御手段からの信号に応じた演出の制御を行う第2制御手段（演出制御基板130）と、変動演出を実行可能な表示手段（第1画像表示装置70）と、所定の態様で作動（動作、発光）可能な可動演出手段（第1可動部材73、第2可動部材74、演出ボタン17）と、を備え、前記第1御手段は、電源供給が開始されたことにに基づき所定信号（電源投入指定コマンド、電源復旧指定コマンド）を送信することが可能であり、前記第2制御手段は、電源供給の開始後に前記可動演出手段の初期作動（初期動作、初期発光）を実行することが可能であり、遊技が進行していない待機状態（客待ち状態）において客待ち演出を実行することが可能であり、電源供給の開始後の前記初期作動の終了後であって前記客待ち演出の実行中に所定条件が成立（所定信号を受信）した場合、前記初期作動を実行することが可能であり、前記検出手段は、遊技媒体を検出するための第1検出手段（始動口検出スイッチ等）と、所定の異常（磁気異常、電波異常）を検出するための第2検出手段（磁気検出センサ、電波検出センサ等）と、を含み、前記遊技機への電源供給が開始されると前記表示手段に所定画像（初期画面）を表示した後に演出図柄を表示可能であり、前記遊技機への電源供給が開始されたときに前記第1制御手段と前記第2検出手段とが非接続状態（コネクタ抜け、断線等）である場合、異常報知（断線報知、磁気異常報知、電波異常報知等）を実行可能であり、前記遊技機への電源供給中において前記第1制御手段と前記第2検出手段とが非接続状態（コネクタ抜け、断線等）となった場合、異常報知（磁気異常報知、電波異常報知等）を実行可能であり、前記遊技機への電源供給が開始されたときに前記第1制御手段と前記第2検出手段とが非接続状態であることにに基づく前記所定の異常報知は、前記表示手段に前記所定画像が表示された後に開始されることを特徴とする。

10

20

30

40

50